

令和5年度

当初予算が決まりました

今年度の当初予算のポイントや主な事業などを紹介します。
 図財政課(☎504-2075、☎504-2099)



市HP ページ番号 318731

骨格予算として編成

令和5年度当初予算は、4月に市長の任期が満了することを踏まえ、支出が義務付けられている経費などを中心とした「骨格予算」として編成しました。

主な事業として、5月に開催されるG7広島サミットの開催支援に係る経費などを計上しました。新規事業は、低所得の妊婦への助成など、国の政策などに基づく事業にとどめました(3ページ主な経費参照)。

一般会計は1.6%増

一般会計の総額は、前年度当初

予算より1.6%増となりました。主な要因は、市債の償還費のうち5年度に満期を迎える元金や将来の償還に備えるための減債基金への積立金が増加したこと、障害者自立支援や民間保育園の運営補助などの社会保障費が増加したことなどです。

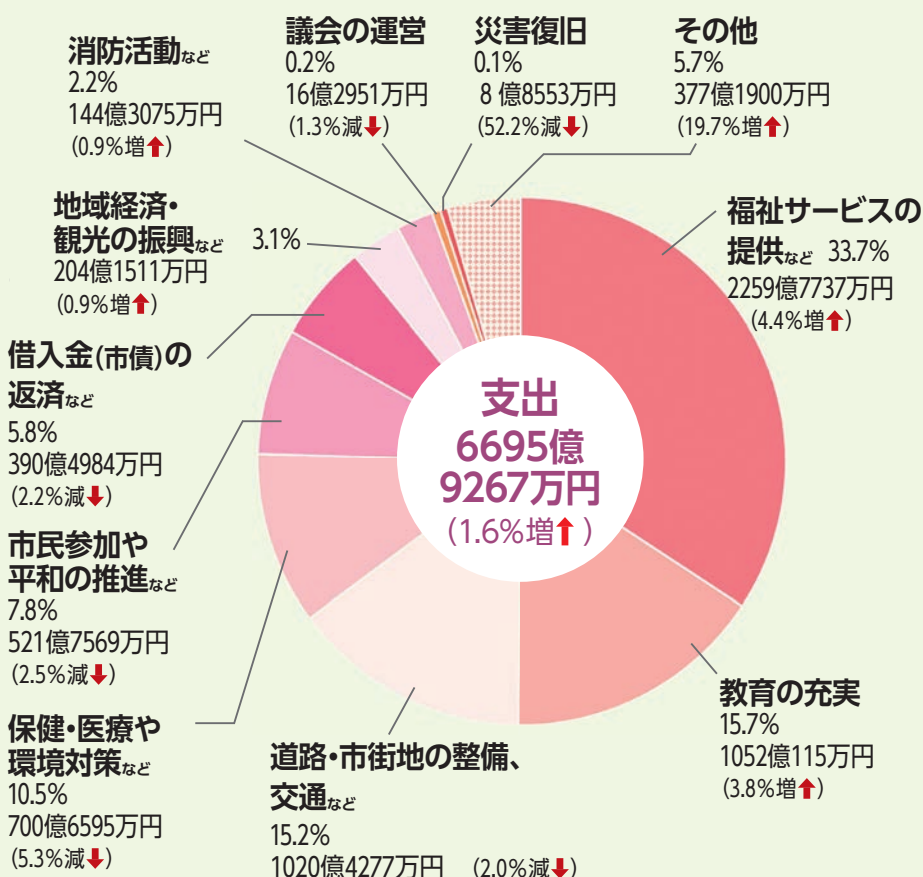
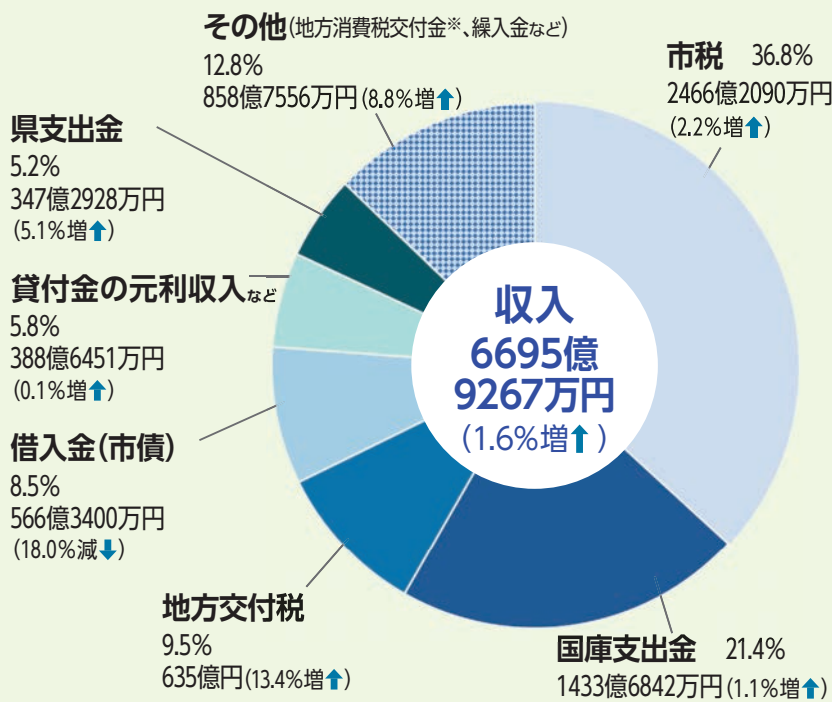
特別会計は、公債管理特別会計と市立病院機構資金貸付特別会計の減などで、対前年度4.1%減、企業会計は前年度当初予算とほぼ同規模となりました。

全会計では、対前年度0.5%減で、2年連続の減です。

一般会計	特別会計	企業会計
6695億9267万円 (対前年度1.6%増↑)	3980億9089万円 (対前年度4.1%減↓)	1476億9154万円 (前年度と同規模→)
※前年度当初予算額に市議会議員補欠選挙の実施に関する補正予算額を加えたものに対する増減率です	保険料などの特定の収入で特定の事業を行い、一般会計とは別に経理する会計。市には、国民健康保険や介護保険など20の特別会計があります。	民間企業と同じように、主にサービスの提供で収入を得て、その収入で支出を賄う会計。市には、水道、下水道、安芸市民病院の三つの企業会計があります。
予算総額 1兆2153億7510万円(対前年度0.5%減↓)		

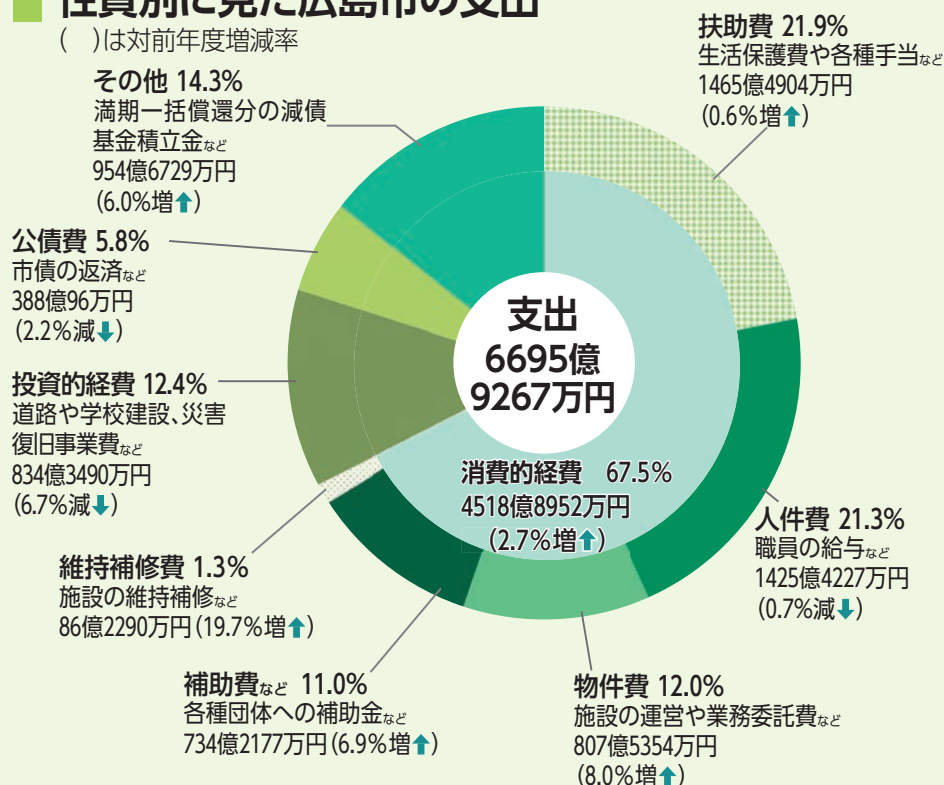
一般会計の内訳

予算額の内訳と構成比。()は対前年度増減率



性質別に見た広島市の支出

()は対前年度増減率



市民1人当たりに換算すると

予算約56万5900円 (対前年度1万1100円増↑)

一般会計予算669.5億9267万円を市の人口118万3150人(令和5年2月末)で割って計算しました。100円未満は端数処理しています。

項目	予算額	対前年度
福祉サービスの提供	約19万1000円	8,800円増↑
教育の充実	約8万8900円	3,500円増↑
道路・市街地の整備、交通	約8万6200円	1,500円減↓
保健・医療や環境対策	約5万9200円	3,100円減↓
市民参加や平和の推進	約4万4100円	1,000円減↓
借入金(市債)の返済	約3万3000円	600円減↓
地域経済・観光の振興	約1万7300円	300円増↑
消防活動	約1万2200円	200円増↑
議会の運営	約1,400円	増減なし→
災害復旧	約700円	900円減↓
その他	約3万1900円	5,400円増↑